

3月議会定例会のあらまし

平成21年3月内子町議会定例会は、3月12日～18日まで7日間の会期で開かれました。38の町長提案案件(条例の制定・改正13件、予算19件、町道路線の認定5件、その他1件)が審議され、原案どおり可決されました。

21年度の施策方針と行政報告

内子町長 稲本 隆壽

21年度当初予算は

骨格予算の編成としましたが、世界同時不況などの影響で町税が減収する中、厳しい編成となりました。19年度決算で実質公債費比率が18割を超えたので、これ以上の財政指標悪化を防ぐため危機意識を持って積算・査定しています。

公約の「子どもたちに夢を」「お年寄りに安心を」「働く人に元気を」に対する予算は、6月以降の補正予算などで順次対応していく予定です。

21年度は、役場内に病院問題に対する地域医療対策関係部署、交通弱者の足を確保する内部検討チーム、過疎地集落対策と自治組織検討チームなどを設置します。また、景観まちづくり計画や観光交流計画、環境基本計画、健康づくり計画など、それぞれに具体的

な行程表や目標値などを示し、実行ある計画にしていきます。

「内子町総合計画」プロジェクト10の進捗状況と21年度の取り組み

●うちこんかいプロジェクト

昨年7月30日、町内の各種団体や建築業者、不動産業者などと連携して、移住者の受け入れ体制を整えるため「うちこ移住促進会議」を設立。3月には長田自治会館で、移住者と意見交換会を行いました。昨年5月からは定住促進事業補助金の拡充を図り、内子町土地開発公社所有の禁団地2区画、御祓団地1区画を販売しています。また、小田地区では、商工会小田支部の建築部会が中心となり、県の補助を受けて古民家を改修する活動などを行っています。

これらの取り組みにより、今年度は長田、石畳、大瀬中央などに7組14人が移住予定です。次年度も移住サポーター、農業委員、自

治会などのご協力を得て積極的に取り組みます。

インターネット環境の整備は、

公共施設間を光で結ぶ「地域インターネット基盤施設整備事業」の導入、大瀬および立川のナローバンド地域でのADSLとリーチDSL併用型による整備を年次計画で進める予定です。また、23年7月までの地上デジタル放送への移行にあわせ、共聴組合への補助と小田地区での民放2局の放送開始を、国の補助を受けながら今秋の本稼働に向け取り組んでいます。

企業誘致に関しては、内子町企業誘致条例が昨年9月定例議会で議決され、本格的に次年度から取り組みます。町内企業の育成としては、「榎森本」が小田原木市場横に単板工場を整備され、地域木材の有効活用に向け夏には稼働予定です。「内子子フレッシュパーク」からの加工工場の運営・指導にも力を入れ、雇用の確保に努



周年型観光を目指す(株)エコファームうちこ

●農林業再生プロジェクト

担い手の育成と確保が重要です。周年型観光を目指し、川登地区の農業法人(有)エコファームうちこが今年オープンしました。また、石畳の農家は企業組合を組織し「そば処 石畳むら」を2月から開店(土・日のみ)させています。

大瀬中野地区の青葉台団地内には昨年度に引き続き新規就農研修施設を2棟建築中です。さらに柿やブドウなど果樹の振興、菌床しいたけの生産拡大に取り組めます。

林業では、補助制度を活用しながら内子町森林組合などと連携して林道や林内道などの基盤整備を行います。また、間伐促進を図るための高性能機械の導入、施業の団地化などに取り組んでいます。

●内子ツーリズムプロジェクト

16年に景観法が制定され、翌年当町は景観団体となりました。これを機に取り組んできた「内子町景観まちづくり計画」が昨年9月に完成。条例などは9月定例議会で議決され、21年4月から施行されます。

●景観まちづくりプロジェクト

この計画で3つの重点区域を指定し、市街地と農山村部それぞれにふさわしい景観まちづくりを展開します。また、条例の施行にあわせて景観まちづくり賞を募集し、3月5日の景観まちづくり推進フォーラムで4団体(啓発活動部門)を表彰しました。町民が自主的な担い手となる取り組みや仕組みづくりを行っています。

●内子教育改革プロジェクト

知、徳、体のバランスがとれた意欲と思いやりのある子どもたちを育てます。ふるさと教育の推進をはじめ、海外派遣事業や小学生対象の英語教育、中学生対象の英語弁論大会など国際人教育の推進など、当町の特色を活かした施策に取り組んでいます。

また、学校や幼稚園などの統廃合は避けて通れない課題です。21年度は田渡幼稚園と御祓幼稚園が小田幼稚園と五十崎幼稚園にそれぞれ統合され、21年度末をもって程内小学校が大瀬小学校へ統合さ

3月議会定例会のあらまし

19年にどぶろく特区の認可を受けたことにより、うちこグリーンツーリズム協会が昨年4月に企業組合「内子ツーリズム」を設立。11月から3種類のどぶろくを販売しています。同月に果樹酒特区の認定も受け、今後はワインなどの製造販売に取り組む予定です。また、国の補助事業である「子ども農山漁村交流プロジェクト」の取り組みも始めました。昨年度は県内の小学校2校を受け入れましたが、今年度は新たな広がりを目指しています。

小田深山活用のための「内子町山並保全・活用計画」が今月中に完成する予定です。小田深山は山並み保存のシンボルとして大きな期待を寄せながら、内子町観光交流計画に掲げている街歩き型観光、滞在型観光を目指す取り組みへとつなげていきます。

町並み保存地区では、西山徳明九州大学大学院教授を中心に、持続可能な町並み保存に向けたマスタープランを作成中です。また、重要文化財上芳我家住宅は7月から本格的な保存修理に着手しています。あわせて有識者による保存活用委員会を設置し、修理後の活用に向けた協議を行っています。重要文化財大村家住宅は、21年度10月から24年6月まで保存修理工事を予定しています。同事業は所有者の大村氏が事業主体として行う



美しい棚田の風景(泉谷)

れます。子どもにとつてどんな教育環境が一番良いかを考え、個性と先見性のある内子らしい教育を推進するため、「内子町教育改革懇談会」を組織し、十分な協議・調整を図りながら取り組めます。

●健康づくりプロジェクト

病院問題は当町が抱える最も重要な課題です。あらゆる選択肢、方策を見極めながら整備に向け粘り強く取り組みます。また「自分の健康は自分で守る」という自覚と実践を基本に、「内子町健康づくり計画」などを活用しながら元気な高齢者づくりを実践していきます。

合併の目玉事業である龍王再開発事業では、(株)新風会(大洲市)による健康増進施設の21年度オープンを目指しています。また多くの来訪者を引きつける魅力ある温泉施設を造るため、民間企業から公募を行い、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金などを活用しながら取り組む予定です。そのほか、公園など周辺整備を行い、来年度中には主な事業を完了したいと考えています。

●元気商店街プロジェクト

なお、33年間の長きにわたり親しまれてきた龍王荘は、整備事業に伴い3月末で閉館します。

元気な商店街づくりを目指して若い世代が活発に活動しています。まちづくり交付金事業などを活用

※1. 1ナローバンド=通常の電話回線を通じてインターネットにダイヤルアップ接続を行う方法。速度の定義128Kbps以下のものの総称。
※2. ADSL=電話回線の中で、通常では使わない領域を利用してインターネット接続を行う方法。速度の定義1.5Mbps~47Mbps。
※3. リーチDSL=ADSLと同じ仕組みだが、ADSLよりも低い周波数を利用するため距離による速度の減少が起きにくいインターネット接続の方法。最大22Mbps程度であるが、距離はADSLの約2倍まで使用可。